



毎年2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day/RDD)

**RDD**  
(アールディディ)  
ってなあに？

世界中の希少・難治性疾患の患者数をあわせると3億人と推定されます。しかし、一疾患ごとの患者数が少ないため病気についてわからないことも多く、診断機会や治療法、関係者や周囲からの理解などが不足している現状があります。

世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day, RDD) は、世界中の希少・難治性疾患の患者さんやご家族にとって、より良い診断や治療による生活の質 (QOL) の向上を目指す活動です。  
うるう年の「Rareな日」にあわせ、毎年2月

最終日が定義日となっています。2008年からヨーロッパでスタートした本領域世界最大の社会啓発イベントであり、日本でもその趣旨に賛同して2010年から全国で開催し、患者や家族同士、関係者らがつながる機会をつくっています。

**RDD2025 in あいち**



**入場無料 参加自由**

難病啓発パネル  
患者会資料  
などの展示

日時 **3/4 (火)**  
13:00~15:00

場所 **ナディアパーク  
2F アトリウム(栄)**

図書館にて  
難病書籍  
コーナー展示

愛知県図書館 2/14(金)~2/24(月)  
名古屋市  
鶴舞中央図書館 2/22(土)~3/20(木)